



主要な農作物の生育情報

平成28年度 第4号

(平成28年7月8日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水 稻

7月5日現在の農業総合センターの生育調査では、調査場所で生育状況が異なっています。

本部（郡山）では、草丈が平年並、茎数が平年並からやや少なく、主稈葉数が平年より多くなっています。会津地域研究所（会津坂下）では、草丈と主稈葉数が平年並、茎数が平年より少なくなっています。浜地域研究所（相馬）では、草丈が平年より長く、茎数が平年並から多く、主稈葉数が平年よりやや少なくなっています。

表1 水稻の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月5日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)	葉色
本 部	コシヒカリ	5. 2	61.2 (104%)	716 (104%)	11.5 (+0.8)	34.2 (-0.9)
	天のつぶ	5. 2	59.4 (100%)	605 (95%)	11.0 (+0.9)	39.7 (-0.7)
	ひとめぼれ	5. 2	58.8 (104%)	680 (93%)	11.5 (+0.9)	37.6 (-0.3)
	コシヒカリ	5.16	55.1 (101%)	713 (101%)	10.7 (+0.8)	36.8 (+0.9)
	天のつぶ	5.16	54.2 (98%)	609 (98%)	10.1 (+0.7)	40.8 (+0.9)
	ひとめぼれ	5.16	54.4 (102%)	722 (101%)	10.6 (+0.6)	38.9 (+0.7)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	59.3 (99%)	640 (92%)	10.6 (± 0)	35.3 (-0.4)
	ひとめぼれ	5.20	57.5 (101%)	710 (94%)	10.5 (+0.1)	37.9 (-0.9)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	67.2 (111%)	786 (114%)	9.8 (-0.3)	37.3 (+0.5)
	ひとめぼれ	5.10	66.7 (112%)	743 (103%)	9.8 (-0.4)	42.0 (+2.1)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

葉色は、SPAD502による測定値。

()内の数字は、前5ヶ年平均値との比較値を示す。

2 大 豆

農業総合センターにおける生育調査の出芽日数は、平年並から3日程度早まりました。

表2 大豆の生育状況（※）

調 査 場 所	品 種	播植期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)
本 部	タチナガハ	6. 1 (±0)	6. 9 (-2)	8 (-3)
		6.20 (±0)	6.29 (+2)	9 (+1)
	あやこがね	6. 1 (±0)	6. 9 (-2)	8 (-3)
会津地域研究所	あやこがね	5.30 (-2)	6. 6 (-2)	7 (±0)
		6.21 (±0)	6.27 (-1)	6 (-1)
浜地域研究所	タチナガハ	6. 9 (-2)	6.16 (-3)	7 (-1)
		6.22 (-2)	6.27 (-4)	5 (-1)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

()内の数字は、前5ヶ年平均値との差を示す。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

5月下旬定植の露地栽培は、主枝摘心が終了しており、現在は主枝中段から上段のきゅうりが収穫されています。梅雨に入り曇天が続いているため、きゅうりの肥大に時間を要していますが、病害虫の発生は少なく、今後は収穫量の増加が見込まれています。

2 夏秋トマト

4月上旬定植の夏秋栽培は、現在8～9段果房開花、3～4段果房を収穫中です。梅雨に入り曇天が続いて着色に時間を要していますが、トマトの肥大は良いほ場が多く見られます。

病害虫は一部ほ場にアザミウマ類、コナジラミ類が発生しています。

3 サヤインゲン

5月下旬定植の露地栽培は、乾燥の影響により一時生育が停滞しましたが、平年並の6月下旬より収穫が始まりました。梅雨に入り曇天が続いて肥大に時間を要していますが、花落ちは見られず、今後は収穫量の増加が見込めます。

4 夏秋ピーマン

4月下旬定植のトンネル栽培は、トンネル除去後の風害の影響により、生育が停滞しましたが、平年並に6月上旬から収穫が始まりました。梅雨に入り曇天が続いているため、ピーマンの肥大に時間を要していますが、病害虫の発生はほとんど見られず、今後は収穫量の増加が見込まれています。

【果 樹】（7月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 も も

暦日比較では、「あかつき」は縦径が54.0mmで平年比115%、側径が54.5mmで平年比121%と平年より大きく、「ゆうぞら」は縦径が51.7mmで平年比113%、側径が49.3mmで平年比120%と平年より大きい状況です。また、満開後日数による比較でも、「あかつき」と「ゆうぞら」ともに平年より大きい状況です。

DVRモデルによる「あかつき」の収穫期予測では、本年の収穫開始は7月25日頃、収穫盛りは7月29日頃で、平年より8日早い見込みです。

2 な し

暦日比較では、「幸水」は縦径が37.7mmで平年比120%、横径が45.5mmで平年比123%、「豊水」は縦径が39.0mmで平年比118%、横径が43.7mmで平年比124%と両品種ともに大きい状況です。また、満開後日数による比較でも、「幸水」、「豊水」ともに平年より大きい状況です。

「幸水」の収穫期予測は、収穫盛期が8月24日（満開後127日）と推測され、平年より7日早い見込みです。

3 りんご

暦日比較では、「つがる」は縦径が53.1mmで平年比109%、横径が62.0mmで平年比114%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が50.2mmで平年比114%、横径が56.9mmで平年比123%と平年より大きい状況です。また、満開後日数による比較では、「つがる」はほぼ平年並で、「ふじ」は平年より大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

7月咲き露地栽培で、コギクは定植後の高温により生育が7日程度早まっています。草丈は生育が早まったことや乾燥の影響により平年よりやや短くなっています。輪ギクもコギクと同様の生育となっています。

8月咲き及び9月咲きの露地栽培は、平年並の生育となっています。

白さび病やアザミウマ類、ダニ類、オオタバコガなどが散見されています。

2 リンドウ

極早生は、平年より7日程度早い6月中旬から出荷されています。早生や中晩生は草丈が平年並からやや長くなっており、順調な生育となっています。

アザミウマ類やリンドウホソハマキの被害が散見されています。

3 シュコンカスミソウ

会津地方の越冬株は平年並の出荷が行われています。抑制の作型では定植が順次行われており、生育は順調です。

ハモグリバエ類の被害が散見されています。

4 トルコギキョウ

半促成栽培は定植以降概ね高温に経過したことから平年より生育が7日前後早まり、6月中～下旬に出荷ピークを迎えました。季咲きや抑制の作型は平年並の生育となっています。

一部でアザミウマ類やオオタバコガの発生が見られます。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、5月中旬から1番草の収穫作業が行われ、収量は平年並となりました。収穫時は好天に恵まれたことから、品質は良好となる見込みです。現在、2番草の再生期であり、7月中旬から収穫作業が行われる見込みです。

2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、現在10葉期前後で、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>